

日本国政府とモンゴル国政府との共同新聞発表（骨子）

1. 日本側は、モンゴルの発展が北東アジア地域の平和と安定に資する旨、モンゴル側は、日本が「第三の隣国」の中で重要なパートナーである旨発言。
2. 日本側は、東日本大震災に対するモンゴルからの支援に改めて謝意を表明。
3. 双方は、両国の共通外交目標「戦略的パートナーシップ」の具体化の加速を確認。

（１）戦略的な対話の促進

- ・外交関係樹立４０周年が成功裡に幕開け。戦略的対話の強化で一致。
- ・安全保障分野の協力の重要性を強調。防衛交流の新たな段階への発展に満足。
- ・政府間の協力枠組みの整備等、多層的対話の進展を評価。一層の連携の緊密化で一致。

（２）包括的な経済関係の強化

- ・経済連携協定（EPA）交渉を開始することで一致。
- ・第６回貿易投資及び鉱物資源開発官民合同協議会会合で最大限の成果を得るべく協力。
- ・モンゴル側は、タバン・トルゴイ炭田開発への日本の参画を確保する政策をとる旨表明。
- ・モンゴル側は、サムライ債活用を希望し、国際協力銀行との輸出金融面での協力の謝意を表明。
- ・モンゴル側は、日本の政府開発援助の貢献及び今次経済協力案件の交換公文署名に謝意。
- ・「新ウランバートル国際空港建設計画」案件の円滑な事業の進展に最大限の努力。
- ・モンゴル側は、インフラ整備、人材の育成、エネルギー分野、環境問題に対する協力の強い期待を表明。
- ・モンゴル側は、地上デジ放送につき日本方式も検討対象とするとの日本の希望に留意。
- ・モンゴル側は、農業での日本側の協力、また、留学生及び研修生数の増加を希望。
- ・日本側は、持続的成長のためのモンゴル政府の努力を引き続き支援していく旨表明。

（３）人的交流・文化交流の活性化

- ・外交関係樹立４０周年記念事業の成功裡の実施を評価。
- ・外交関係樹立４０周年を契機に、両国民の相互訪問がより一層活発化することを期待。
- ・モンゴル青年を日本に招へいする「キズナ強化プロジェクト」の実施を表明。

（４）地域・グローバルな課題への取組での連携強化

- ・朝鮮半島の平和と安定の確保に引き続き緊密に意思疎通し、冷静かつ適切に対応していくことで一致。
- ・拉致問題を含む日本と北朝鮮との間の諸懸案に関する日本の立場へのモンゴル側の支持を表明。
- ・モンゴル側は、国連安全保障理事会の改革及び日本が常任理事国になることを支持。
- ・日本側は、民主主義共同体議長国としてのモンゴルの尽力を高く評価。
- ・モンゴルの多国間枠組み・地域協力への参加希望を踏まえ、意見交換を行っていく旨表明。

（了）